

第49号

平成29年
7月3日

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp



社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/> E-mail ikoinosato@syoujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会

第49号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さん、こんにちは。

今年は梅雨入りが発表されてから、雨が降らない空っ梅雨の天気が続いていますが、猛暑のシーズンがやってまいりました。

一杯水のたたえた田圃には植えたばかりの稲の苗がすくすく生長し

目の痛くなるように鮮やかな紫陽花が目にとまります。

澄んだ青空高くに伸び上げていく入道雲を眺め、山々の彼方を想像するとカール・ブッセの“山のあなたの空遠く、幸い住むと人の言う”詩が思い浮かんできます。

そうです！人の幸せ自分の足元にあるんだ。遠くを憧れても駄目だと思いやると、日々のお付き合いする交友を一層大切に輪を拡げ、地域の社会が住みやすい豊かな生活ができるよう、協力し合って、参りたいと思います。

さて、グローバル化世の中に無数の情報が飛び

交う中で、取捨選択して軸のブレない自身の人生を成長させるには余程しっかりと舵をとって操縦する必要があります。まず、正しい情報を糧として集団・社会の交わりを大切に日々是好日の生活を誰しもが望むものであります。

我々の周辺には多くの事実が群がっています、そしてそこから一つの真実を探求する事が求められています。

頭を駆け巡る無数の情報から真実をつかむこと。本当にこれは、神が我々人間に与えられた恩恵と受けとり、ありがたく享受してまいりたいと思います。

酷暑のシーズンをくれぐれも御自愛下さい。



法人研修所 “みどりの樹” オープン

理事長 中村 猛

木曾御嶽山の山麓深く、濃い緑に囲まれた開田高原に、御縁が出来て、この度、我々法人の人材育成の研修所“みどりの樹”がオープンしました。

私達は自分の足元を大切に、しかし移動して自身をみつめることも大切に、都会の環境から離れて自然豊かな地方からその環境に溶け込み、学んでいこうという思いで作りました。私達はその研修所を利用して外から自分達の法人をみつめ、学んで考えることができれば幸いと考えています。

毎日毎日が予定の一杯詰まった生活の中で、少し自然環境の違った場所で色々な異業種、文化、習慣の違う方々と交流を結んで、自分をみつめ直す機会が与えられれば幸いです。



これからの介護人材は・・・

事務長 原田 陽造

現在、日本において老老介護の問題があり、10年後には団塊の世代の2000万人を超える方が75才以上の後期高齢者となり国の財政も圧迫し、介護する人材が不足し介護が受けられない状況になる可能性も出てきております。

若い方が、介護職への道を選択される割合が減少し、どこの施設においても人員確保が厳しい状況になってきております。

その中、全老健では外国留学生、特にベトナムが親日性も高く現地の日本語教育機関も比較的充実している事から、まずはベトナムからの留学生受け入れを検討する事になりました。

といっても現状では言葉・養成校のインフラ、監理体制の未整備、等々課題も多くあります。また、大老協のアンケートでは、現在外国人スタッフを受け入れている施設は1割強ですが、今後は検討していくと言った施設を合わせると4分の1が採用する状況であることもわかり、近い将来、多くの外国人スタッフを受け入れを行っていく施設が増加する事が予想されます。

なごみの里でも、このような背景が良いか悪いかは別とし、ご利用者の安全・安心・信頼を保つ1つの手段として検討していく必要があるのではないかと思います。

認知症棟リニューアル ～半年の経過報告～

介護課長代理 尊田 幸一

なごみの里の認知症専門棟がリニューアルされ半年が経ちました。リニューアルのコンセプトは昭和20～30年代の再現です。ご利用者の若かりし頃、最も活気にあふれ、かつ一生懸命に生活していた時代を振り返り、懐かしんでいただくことで、当時の元気を現在に取り戻していただきたいという想いがあります。フロア全体に木の良い香りが漂い、昔ながらのポスター、モノクロテレビやシンガーミシン、かまど等の懐かしい物品を設置した和室。おかげさまで、今回のリニューアルにより、ご入居者やそのご家族、また、見学に来られた方等、ご好評をいただいております。

加えて、リフォームをきっかけに、最も変化したのは職員の

やる気だと私はとらえています。和室を使用して毎日、レクリエーションを実施するようになりました。例えば、月曜日は回想法、火曜日はハンドマッサージ、水曜日は書道、木曜日は生け花、金曜日はおやつ作り、と様々なプログラムを介護部だけではなく、臨床心理士やリハビリ、栄養課等、様々な職種が協働して提供することができています。この他にも、個別性を重視したケアに向けて、様々な企画が進行しております。なごみの里の認知症専門棟は、今後もこうした取り組みを積極的に実施し、ご利用者や職員のあたたかな笑い声にあふれた、皆が光輝くことのできるようなフロアを目指して参りたいと考えています。

夏の暑さを乗り切るための体作りを目指して

栄養科 主任 管理栄養士 小野 理恵

夏本番となり、暑さとの闘いがやってきました。五月に真夏日予想が出た時は、この先の暑さがどれほど続くのか、何よりご利用者の体調への危惧を感じました。高齢者にとって、夏の暑さは熱中症になる危険性が高いからです。成人と比べて体の水分量が少ないうえに、感覚も鈍くなり、のどが渇いているのに気づきにくくなる為、いつも以上に水分補給を必要とします。

当施設では夏季の間、お茶の他にスポーツ飲料による水分補給を行い、熱中症の予防に努めています。お茶が苦手な、勧めてもなかなか飲まれない方の水分量の改善につながる

事もあり、電解質の補給と共に効果を感じています。

熱中症の他に気をつけたいのが夏バテです。夏バテ予防で特に摂っておきたい栄養素は、たんぱく質とビタミンB群です。たんぱく質は筋肉や臓器、皮膚の主成分として体を作る働きがあり、ビタミンB群は、エネルギーの代謝を助けて疲労回復に役立ちます。豚肉、豆類、雑穀は、ビタミンB群が豊富でタンパク源にもなります。更に夏野菜には、暑さのストレスへの抗体をつくるビタミンCがたっぷり含まれています。このような食材を組み合わせた食事を心がけ、夏の暑さを乗り切っていただきたいと思います。

在宅支援

元気づくり・地域づくり会議について 枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏

枚方市では平成28年度から元気づくり・地域づくり会議の設置を、小学校区や生活圏域（以下 地域）ごとに進めております。平成29年5月22日現在で枚方市小学校区45の内、24校区に設置されています。

この会議では、高齢者に関連する地域のニーズや地域資源の情報共有、地域課題や実態把握を行います。そして、既存の集いの場の活用や、開発が必要なサービスの議論を行っていきます。具体的に例示すると、「介護予防を進めていくため、ひらかた元気くらわんか体操を地域で取り入れよう。高齢者がアクセスしやすい場所にある空き家や、施設のスペースを活用しよう。」などです。これまでも自治会などの地域組織が、

地域のニーズを把握し、解決していくことはしっかりと実践されていたわけですが、今後は「サービス事業所」も地域と協働しあっていくことが求められています。サービス事業所としての役割をこれまで以上に認識し、会議の中で整理された地域のニーズに対応していく必要があります。

包括は、会議の事務局としての役割を担います。中継器いわゆる「ハブ」となって、円滑な会議運営をサポートしてまいります。



ひらかた元気くらわんか体操の一コマ



『近隣の清掃活動』

特別養護老人ホーム いこいの里 介護課長代理 関谷 大

5月16日、穏やかな日差しが差し込む中、利用者様と職員10名が集まり、地域への貢献活動のひとつとして、いこいの里の施設近隣の道路の清掃活動を行いました。

この4月より毎月第3火曜日の天気の良い日に、利用者様と一緒に外に出ることができる事はないか？ とはじめました。最初は、職員もなかなか進んで、活動できませんでしたが、利用者様と一緒に散歩に出かけるような感じで、進んで活動に参加してくれるようになってきました。

今後は、活動の幅を広げていけるようにしていく事を目標としており、少しでも近隣との交流を深めていけるようにしていきたいと考えております。



菖蒲園見学

グループホーム たんぼぼ藤阪 管理者 竹之内 真一

施設の近くにある山田池公園では、今年も5月25日から6月25日の1か月の期間、菖蒲園が一般開放されておりました。私達たんぼぼ藤阪では、6月12、13日の2日間園内の車両通行許可をもらい、ユニット別に菖蒲園見学に行きまして。

菖蒲園には他の施設の方々や立派なカメラを構えている一般の方々も沢山来園されておりました。菖蒲の花は紫、白、青、ピンク色の花が咲き乱れ、『松の雪』『奥万理』『桜獅子』等風情のある名がそれぞれ付けられておりました。入居者の方

達は、「キレイやなあ」「こんな立派な所があったんやなあ」と感心されておりました。梅雨の季節でしたが、2日共天候に恵まれ、色とりどりの菖蒲の花を堪能する事が出来ました。又、協力して下さった家族の皆様方、有難うございました。



親和会主催、ボウリング大会、食事会開催

親和会 会長 藤田 優美子

6月にボウリング大会1回目をラウンドワンにて開催いたしました。理事長の挨拶と始球式で始まり、去年から好評だった個人戦とチーム戦との両方で点数を競ってもらい白熱した戦いでした。

食事会は、今年初めて使用することになったルーチェサントルチア（イタリアン）に場所を移し、景品発表を行いました。理事長賞に大丸百貨店のカタログ商品、目玉商品にプライベートピエラ（防水テレビ）を贈呈しました。ボウリングに131人、食事会に141人と大変多くの方にご参加いただきまして、みどり会と松樹会の親睦も深められて親和会役員一同感謝しております。

次回も役員一同一丸となり皆さん楽しんでいただけるように頑張りたいと思います。



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
 デイサービスセンター いこいの里
 サテライト いこいの里 072-849-2210
 ケアハウス つくしんぼ長尾 072-868-2190
 デイサービスセンター 長尾
 ケアハウス つくしんぼ藤阪 072-868-2191
 グループホーム たんぼぼ藤阪 072-868-2197
 グループホーム たんぼぼ田口 072-898-2193
 居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
 中村記念クリニック 072-868-2070
 介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
 サテライト なごみの里 072-818-2071
 デイサービス 長尾の里
 有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727
 旬彩 なかむら 072-860-7527
 グループホーム たんぼぼ長尾 072-868-2195
 ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
 訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
 地域包括支援センター みどり 072-845-2002

—— 編集後記 ——

今年の直木賞・本屋大賞受賞作「蜜蜂と遠雷」は700頁ほどある文章からクラシックピアノの音が聞こえてくるような錯覚を覚えるほどの表現力豊かな作品でした。孫のピアノコンテストの情景と主人公と重ねながら（レベルの違いはほど遠いですが）久しぶりに一気に読み終えることができました。今回、研修所「みどりの樹」開設の件で木曾開田高原に出張する機会が多くありましたが都会を離れて自然豊かな環境で、研修も勿論ですが本を読んだり、高原散歩をしたりと人生の終盤を考えるのも良い機会と感じております。

みどりの風編集委員会
 連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田